



ふるさと塩竈の復興を推進し、 明るい未来の創生に全力を尽くします！

塩竈市長 佐藤 昭

市長就任のあいさつ

去る8月30日の塩竈市長選挙におきまして、4期目の市政運営を担わせていただくこととなりました。

あらためて、ふるさと塩竈の復興をさらに推進すること、そして子どもたちが夢と希望を持てる明るい未来を創生していくことを、私の使命として全力でまちづくりに取り組んでまいります。

今後の市政運営においては、東日本大震災からの復興を成し遂げることを第一に、災害公営住宅の全戸完成をはじめ、海岸通市街地再開発事業の早期着工、新魚市場の早期完成と供用、北浜地区・藤倉地区の土地区画整理事業を進めてまいります。

また、本市の活気・元気にぎわいを取り戻すために、水産・水産加工などの基幹産業の活性化と企業誘致による新産業の創出を図るとともに、新たな観光・物産・商業の振興に取り組む、市内外に塩竈の魅力を発信してまいります。

さらに、本市の人口減少に歯止めをかけるために、子育て支援と学校教育をさらに充実して、若者世代の定住を促進してまいります。

また、市民の皆さまが、ふるさと塩竈に暮らしている幸せを実感いただけるよう、福祉や介護、健康施策の充実や、利便性の高いまちづくり、浦戸の活性化に取り組んでまいります。

私が掲げましたまちづくりのキーワード

- 「さらに復興！そして創生！」
- 「もっと安心！もっと定住！」
- 「もっと元気！もっと交流！」
- 「もっと大好き！もっと連携！」
- 「もっと行政改革！」

に基づき、オール塩竈の総力を結集し、誠心誠意思いを込めて「日本で一番住みたいまち 塩竈」の実現を目指してまいります。

市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

島づくりの担い手育成のため

11月
オープン

「浦戸ステイ・ステーション」完成！

浦戸地区集落再生促進施設整備事業

浦戸諸島の島づくりの担い手を育成するため、旧浦戸第一小学校(寒風沢)および旧浦戸第二小学校(桂島)を改装して整備した、「寒風沢ステイ・ステーション」「桂島ステイ・ステーション」が完成しました。

これらの施設は、島での漁業・農業従事希望者などが宿泊できる施設や地域住民が交流する施設などとして活用します。

これから、入居者の募集と宿泊や滞在に必要な家具や生活用品の準備を行い、11月中のオープンを予定しています。

施設概要(寒風沢・桂島)

1 F	多目的室、浴室、食堂、事務室、相談室など
2 F	宿泊室、談話室

多目的室…地域住民のコミュニティスペースや、島を訪れた一般の方の研修・福祉活動などの場として利用できます

宿泊室…漁業・農業従事希望者の長期宿泊や、浦戸を活用したエコ・ツアー、子どもたちの宿泊体験学習ツアーなどの短期宿泊に利用できます



▲寒風沢ステイ・ステーション



▲広々とした食堂
◀宿泊室は各施設に6室設けます

政策課企画係 ☎355-5631